



学校だより 加戸の丘 R8

教育目標「よく学び よく働き よく遊ぶ」

坂井市立加戸小学校

第6号

令和8年10月9日

令和8年度全国学力・学習状況調査 本校結果分析（概要）

4月23日(木)に6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査につきまして、既に報道で全国の傾向、福井県の状況等が公表されています。本校の結果分析がまとまりましたのでご報告いたします。この学校だよりでは、成果が見られたことと今後重点的に取り組むべき課題に触れております。

分析結果をもとに、良好なところは更に伸びるように、課題が見られるところは改善できるように、今後も「楽しく分かる授業」を目指して授業の方法や形態などを工夫しながら取り組んでいきたいと考えております。

教科に関する調査

今年度は、国語・算数のみの調査でした。本校の平均正答率(%)は、国語・算数とも、県・全国平均を下回りましたが、内容によって県・全国平均を上回っている問題もありました。内容ごとに分析すると、以下のようなことが分かりました。

【国語】 ○良好なところ、△課題がみられるところ

○言葉の特徴や使い方に関する事項について良好な結果でした。

○「話すこと・聞くこと」について良好な結果でした。

漢字を文の中で正しく使うこと、比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと、文章の種類と特徴について理解することができています。また、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう構成を考えることができています。

△「書くこと」「読むこと」について

筋道の通った文章となるように文章全体の構成や展開を考えること、引用して自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること、目的に応じて必要な情報を見付けることに課題があります。



【算数】 ○良好なところ、△課題がみられるところ

○「数と計算」「図形」「データの活用」について良好な結果でした。

小数が整数と同じ仕組みで表されていることを理解し、条件に合う小数をつくること、単位分数の個数に着目し数直線上で目盛りを捉えることができています。直方体などの図形を構成する要素について理解しており、体積の求め方を理解しています。示された表から集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を記述することができています。

△「変化と関係」について、「記述式」で答える問題について

単位量あたりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商から大小を判断すること、基準量、比較量、割合の関係を表した図を読み取ることに課題があります。また、異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述すること、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述することに課題があります。



生活習慣や学習環境に関する質問紙調査 ○良好なところ、△課題がみられるところ

- 朝食を毎日食べている、就寝・起床時刻がほぼ決まっているといった基本的な生活習慣が身に付いています。
- 人が困っているときは進んで助け、地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思っています。
- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できます。（SOSの出し方）
- 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいます。
- 「分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている」「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している」と答える児童が県・全国平均と比べて多いです。
- △「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標をもっている」に「当てはまる」と答える児童が、県・全国平均と比べて少ないです。



✎ よりよい学びのために

- ・国語の「読むこと」の授業において、内容を捉えるための発問・展開の工夫にさらに取り組みます。
- ・文章や資料を見比べたり、文章から変化を読み取ったりする活動を、国語の時間だけでなく、他教科での調べ学習やまとめの時間を活用し、機会を増やしていきます。
- ・文章を書く活動では、相手を意識した文章を書いたり、書いた文章を読み合ったりする機会を増やし、より伝わりやすくするための表現や資料の使い方など、様々な形態の活動を取り入れていきます。
- ・算数において、問題の場面の把握、数量を正しく捉えるために、言葉や図・グラフ、式を関連付ける作業や、自分の考えを数学的な言葉や図などを用いて表現する活動を増やしていきます。
- ・児童の実態に即した授業展開、学習した内容を日常生活の場面に落とし込んで考える課題設定など、児童の主体的な学びに向けた工夫に取り組みます。
- ・ポジティブ教育の充実を図り、仲間との絆づくり、自分の強みを知る活動などを通して、自己肯定感・自己有用感を育成します。

9月の道徳より(生活目標 健康安全に気をつけよう)

9月の道徳の授業では、どの学年も「生命の尊重」の内容を行いました。大切な命について考えました。各学年の内容と感想を簡単に紹介します。

【1年生】 『どきどき どっきんぐ』（生命の尊重）

いのちをたいせつにする。いのちをまもる。だいじないのちをまもりたい。いのちがたいせつなのがあった。

【2年生】 『たんじょう日』（生命の尊重）

(お母さんが)にっこりとわらっておめでとうと言ってくれたのがうれしかったです。おかあさんそだててくれてありがとうございます。かんしゃしていますからね。それからべんきょうもがんばります。

【3年生】 『ヌチグスージ』（生命の尊重）

いのちはずっとつづいてるのだなと思いました。次の人にいのちをまわしていきたいです。

【4年生】 『がんばれ！ぼくの体！』（生命の尊重）

自然ちゆ力であせをかいいたりぶるぶるふるえたり発熱がでたりすることにとってもおどろきました。熱がでたときは薬をつかわないようにしようと思いました。

【5年生】 『お母さんへの手紙』（生命の尊重）

命があるのはあたりまえなことじゃないから、大事に生きないと思いました。

【6年生】 『ある犬のおはなし』（生命の尊重）

命をあずかるとは、その子の未来を自分が決めるということ。ストレスをあたえたり、エサをあげないということはしない。